
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2011年第29週
(7月18日～7月24日)

- * 2011年7月27日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「生食用食肉の加工基準目標」も掲載
しています。

平成23(2011)年7月28日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2011年29週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		26週	27週	28週	29週		29週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎					1		1
	結核	79	77	95	58	2,567	345	16,270
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ							2
	細菌性赤痢		2	1	2	31	5	108
	腸管出血性大腸菌感染症	12	6	6	22	90	116	1,518
	腸チフス				1	3	1	12
	パラチフス				1	9	1	15
四類	E型肝炎					6		36
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1	1		21	1	136
	エキノコックス症					1		11
	黄熱							
	オウム病		1			2		10
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							5
	つつが虫病					8		156
	デング熱		1			13		48
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1		40
	日本脳炎					1		2
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							3
マラリア			1		12	1	34	
野兔病								
ライム病					2		3	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	2	1	2	1	31	18	377	
レプトスピラ症					3		5	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		26週	27週	28週	29週		29週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	5	4	1	90	8	427
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	2	1	1		25	1	147
	急性脳炎 *2				1	10	1	179
	クリプトスポリジウム症					2		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		10		66
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				2	22	3	133
	後天性免疫不全症候群	4	9	8	8	225	10	777
	ジアルジア症	1	1			7	2	38
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		7
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	4	6	6	5	121	10	411
	破傷風	1				5		61
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1		30
	風しん	1		4		22	2	262
麻しん	2	2	2	1	156	5	369	
2011/7/27集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 58件 肺結核 32件、その他の結核 26件、年齢は5歳未満 7件、10代 1件、20代 15件、30代 1件、40代 6件、50代 6件、60代 8件、70代 5件、80代 7件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 57件、東南アジア 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 患者2件、菌種はソネ 2件、推定感染地は、国内 2件、推定感染経路はその他(同性間性的接触) 1件、その他(不明) 1件であった。

腸管出血性大腸菌感染症 22件 患者 18件(うちHUS 3件)、無症状病原体保有者 4件、血清型・毒素型は O157 VT1・VT2 9件、O157 VT(型不明) 3件、O157 VT2 2件、O103 VT1 2件、O111 VT1・VT2 1件、O157 VT1 1件、O26 VT1 1件、O(型不明) VT2 1件、その他、血清診断によるものが 2件、年齢は5~9歳 2件、10代 8件、20代 5件、30代 2件、40代 1件、50代 2件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 22件(東京都 18件、愛知県 1件、不明 3件)、推定感染経路は経口感染 12件、経口及び接触感染 1件、その他(不明) 9件であった。HUS症例 2件は、焼肉店の利用を認めている。

腸チフス 1件 患者で、推定感染地はネパール、推定感染経路は経口感染であった。

パラチフス 1件 患者で、推定感染地はネパール、推定感染経路はその他(不明)であった。

〈四類感染症〉

レジオネラ症 1件 肺炎型、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件 腸管アメーバ、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

急性脳炎 1件 病原体は不明、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 A群 1件、G群 1件、年齢は70代 1件、80代 1件、推定感染地はいずれも国内、推定感染経路は創傷感染(左下腿) 1件、その他(不明) 1件であった。

後天性免疫不全症候群 8件 無症候キャリア 5件、AIDS 3件、無症候キャリアの年齢は20代 1件、30代 1件、40代 2件、60代 1件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 2件、推定感染地は国内 7件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 6件、異性間 1件、両性間 1件)であった。

梅毒 5件 無症候梅毒 1件、早期顕症梅毒 I 期 1件、早期顕症梅毒 II 期 3件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 5件(同性間 2件、異性間 1件、性別不明 2件)であった。

麻しん 1件 修飾麻しん、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、麻しん含有ワクチン接種歴は接種なしであった。

※ 第28週該当分として、三類 腸管出血性大腸菌感染症 1件、五類 梅毒 3件、麻しん 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2011年29週

定点種別	対象疾患	2011年					報告医療機関数	定点医療機関数
		26週	27週	28週	29週	定点あたり		
小児科	RSウイルス感染症	19	24	42	46	0.18	262	264
	咽頭結膜熱	197	200	264	212	0.81		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	563	439	417	302	1.15		
	感染性胃腸炎	1,248	1,085	1,031	822	3.14		
	水痘	384	293	272	155	0.59		
	手足口病	663	1,325	2,177	2,497	9.53		
	伝染性紅斑	260	232	195	94	0.36		
	突発性発しん	232	183	200	208	0.79		
	百日咳	7	6	13	7	0.03		
	ヘルパンギーナ	389	885	1,787	1,796	6.85		
	流行性耳下腺炎	98	145	109	115	0.44		
	川崎病(注1)	9	9	8	5	0.02		
	不明発しん症(注1)	79	72	79	82	0.31		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	9	15	3	3	0.01	413	419
眼科	急性出血性結膜炎			5	1	0.03	36	39
	流行性角結膜炎	17	12	19	23	0.64		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)			2	2	0.08	24	25
	無菌性髄膜炎	1		1				
	マイコプラズマ肺炎	18	15	16	14	0.58		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)							
2011/7/27集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・ 手足口病の定点あたりの報告数は過去10年で最も高い水準となり、27週から引き続き流行警報基準を超えている。
- ・ ヘルパンギーナの定点あたりの報告数は高い水準が持続し、前週から引き続き流行警報基準を超えている。
- ・ 不明発しん症の定点あたりの報告数は増加し、過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・ マイコプラズマ肺炎の定点あたりの報告数は減少したが、過去5年平均と比較して高い値で推移している。

(定点医療機関からのコメント)

- 1 医療機関からインフルエンザ迅速キットA型陽性が報告されています。
- 新宿区保健所管内定点医療機関
- ・ 手足口病、ヘルパンギーナ: 患者が増加しています。
- 世田谷保健所管内定点医療機関
- ・ 眼の症状がないアデノウイルス陽性 1名。
- 荒川区保健所管内定点医療機関
- ・ 感染性胃腸炎: 病原性大腸菌O25、O27、O126、O148 各1名。クロストリジウム・ディフィシル陽性 1名。
- 板橋区保健所管内定点医療機関
- ・ 感染性胃腸炎: 病原性大腸菌O1、O74、O153 各1名。
- 八王子市保健所管内定点医療機関
- ・ アデノウイルス感染症 2名。
 - ・ 感染性胃腸炎: ロタウイルス陽性 1名。アデノウイルス陽性 1名。
 - ・ 咽頭結膜熱: アデノウイルス陽性 2名。
- 南多摩保健所管内定点医療機関
- ・ 手足口病、ヘルパンギーナ: 患者が多かった。
- 多摩小平保健所管内定点医療機関
- ・ 感染性胃腸炎: 病原性大腸菌、サルモネラ菌 各1名。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2011年29週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	6	1		13	2	23		2		17
～11か月	16	4	4	97	10	214	2	77		143
1歳	11	35	6	113	37	686	8	103	1	389
2歳	5	31	24	91	24	465	7	21	1	317
3歳	7	39	37	83	20	390	10	1	2	310
4歳	1	35	41	81	27	261	14	1		230
5歳		31	36	51	11	196	17	1		145
6歳		14	39	37	4	89	12	1		89
7歳		12	31	40	8	56	6	1		65
8歳		1	13	29	4	34	6		1	38
9歳		3	15	22	6	20	3			24
10～14歳		3	34	67	2	23	2			21
15～19歳			2	11		2				3
20～29歳		3	20	87		38	7		2	5
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	46	212	302	822	155	2497	94	208	7	1796
先週比	4	-52	-115	-209	-117	320	-101	8	-6	9

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1	3			
～11か月		1	18	1		
1歳	7	2	31			
2歳	7	1	14			
3歳	20		5			1
4歳	20		3			
5歳	25		5			2
6歳	12		3			2
7歳	10					
8歳	9					1
9歳	3					1
10～14歳	1					
15～19歳	1					
20～29歳						4
30～39歳				1		6
40～49歳				1		5
50～59歳					1	
60～69歳						1
70～79歳						
80歳以上						
合計	115	5	82	3	1	23
先週比	6	-3	3		-4	4

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2011年29週

	風しん	麻しん
0歳		1
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	0	1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2011年29週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				1		4	1	3		4
中央区			1	6	4	15	2	4		17
みなと	10	1	2	16	3	74	2	5		20
新宿区	3	1	5	14	3	19	1	4		24
文京		2	2	2	2	28	2	1		14
台東		3	2	22	2	33	1	6		36
墨田区		5	1	7	1	20	6	4		15
江東区		8	7	54	4	107	1	8		102
品川区		4	6	32	3	58	2	4		35
目黒区		1	3	5	2	28		2		21
大田区	8	17	19	62	8	201	6	9		96
世田谷		19	26	44	15	131	12	10		102
渋谷区		2	1	7	1	33	1	2		1
中野区	2	1	5	14	7	50	4	2		52
杉並			14	30	5	52	3	3		16
池袋			3	10	1	11		2		4
北区		1	1	21	2	37	1	4		63
荒川区	10	5	2	10	3	37	3	6	2	108
板橋区		5	2	20	1	25	4	3		23
練馬区	1	14	22	45	6	177	4	11		109
足立	2	11	16	45	5	35	1	8	2	212
葛飾区			2	18	3	47	1	7		95
江戸川	2	14	16	53	5	76	3	15	1	205
八王子市	2	12	33	89	19	228	5	18		73
町田市	1	9	18	44	6	89	5	11		122
西多摩		11	6	18	3	48	3	1		10
南多摩		4	11	21	6	125	1	10		36
多摩立川		9	26	31	10	166	1	15		36
多摩府中	1	21	27	34	11	334	10	15	2	55
多摩小平	3	32	23	47	14	204	8	15		89
島しょ	1					5				1
東京都合計	46	212	302	822	155	2,497	94	208	7	1,796

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2011年29週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区						1
みなと	1					
新宿区	1		2			
文京	1		7			1
台東	2					
墨田区			5			1
江東区	5		4			2
品川区	4		1	1		
目黒区	1					
大田区	4		6			
世田谷	2		3			
渋谷区						
中野区	1					
杉並	8		5			
池袋						
北区	3	1	2			
荒川区	1		5			1
板橋区	6		3			
練馬区	7		6			2
足立	5		5	1		3
葛飾区	1	1	4			2
江戸川	1		4		1	4
八王子市	22		3			
町田市	3		5	1		
西多摩	3		1			1
南多摩	12	1				
多摩立川	3		3			
多摩府中	3	2	6			3
多摩小平	15		2			2
島しょ						

東京都合計	115	5	82	3	1	23
-------	-----	---	----	---	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		1
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	0	1
-------	---	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2011年29週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				0.33		1.33	0.33	1.00		1.33
中央区			0.33	2.00	1.33	5.00	0.67	1.33		5.67
みなと	1.67	0.17	0.33	2.67	0.50	12.33	0.33	0.83		3.33
新宿区	0.38	0.13	0.63	1.75	0.38	2.38	0.13	0.50		3.00
文京		0.67	0.67	0.67	0.67	9.33	0.67	0.33		4.67
台東		0.75	0.50	5.50	0.50	8.25	0.25	1.50		9.00
墨田区		1.00	0.20	1.40	0.20	4.00	1.20	0.80		3.00
江東区		0.89	0.78	6.00	0.44	11.89	0.11	0.89		11.33
品川区		0.50	0.75	4.00	0.38	7.25	0.25	0.50		4.38
目黒区		0.20	0.60	1.00	0.40	5.60		0.40		4.20
大田区	0.62	1.31	1.46	4.77	0.62	15.46	0.46	0.69		7.38
世田谷		1.19	1.63	2.75	0.94	8.19	0.75	0.63		6.38
渋谷区		0.50	0.25	1.75	0.25	8.25	0.25	0.50		0.25
中野区	0.29	0.14	0.71	2.00	1.00	7.14	0.57	0.29		7.43
杉並			1.40	3.00	0.50	5.20	0.30	0.30		1.60
池袋			0.60	2.00	0.20	2.20		0.40		0.80
北区		0.14	0.14	3.00	0.29	5.29	0.14	0.57		9.00
荒川区	2.50	1.25	0.50	2.50	0.75	9.25	0.75	1.50	0.50	27.00
板橋区		0.50	0.20	2.00	0.10	2.50	0.40	0.30		2.30
練馬区	0.08	1.08	1.69	3.46	0.46	13.62	0.31	0.85		8.38
足立	0.15	0.85	1.23	3.46	0.38	2.69	0.08	0.62	0.15	16.31
葛飾区			0.25	2.25	0.38	5.88	0.13	0.88		11.88
江戸川	0.17	1.17	1.33	4.42	0.42	6.33	0.25	1.25	0.08	17.08
八王子市	0.18	1.09	3.00	8.09	1.73	20.73	0.45	1.64		6.64
町田市	0.13	1.13	2.25	5.50	0.75	11.13	0.63	1.38		15.25
西多摩		1.38	0.75	2.25	0.38	6.00	0.38	0.13		1.25
南多摩		0.44	1.22	2.33	0.67	13.89	0.11	1.11		4.00
多摩立川		0.64	1.86	2.21	0.71	11.86	0.07	1.07		2.57
多摩府中	0.05	1.05	1.35	1.70	0.55	16.70	0.50	0.75	0.10	2.75
多摩小平	0.20	2.13	1.53	3.13	0.93	13.60	0.53	1.00		5.93
島しょ	1.00					5.00				1.00

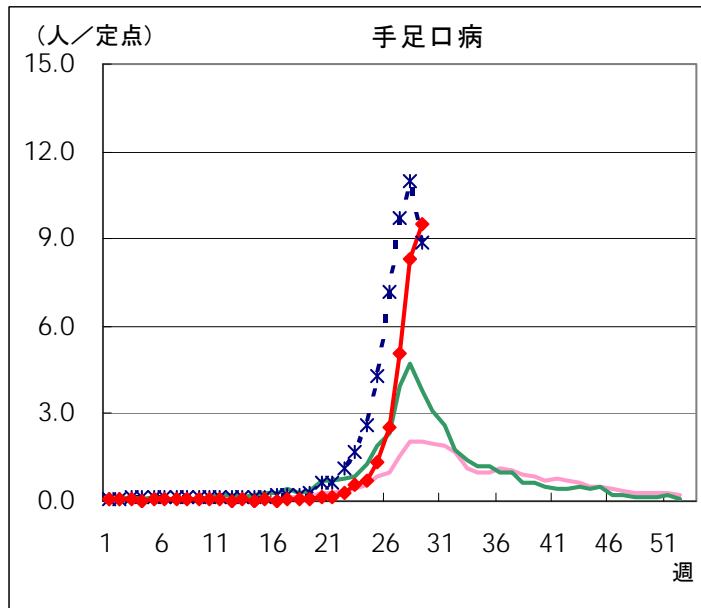
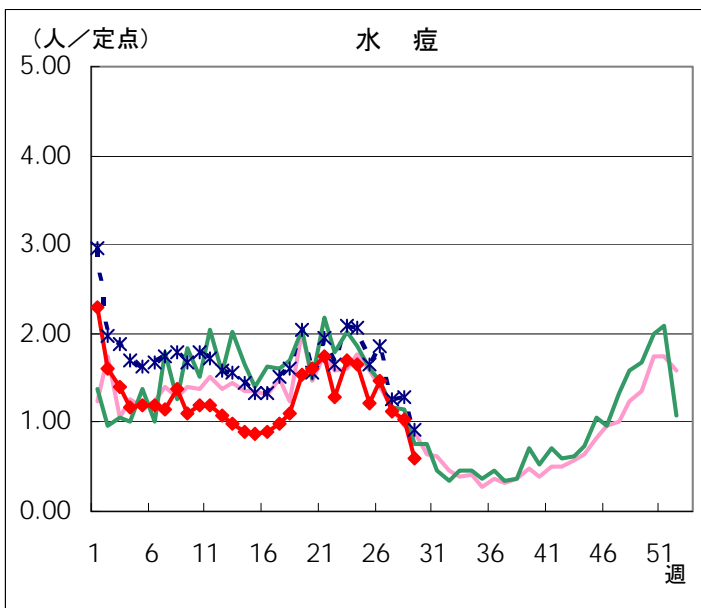
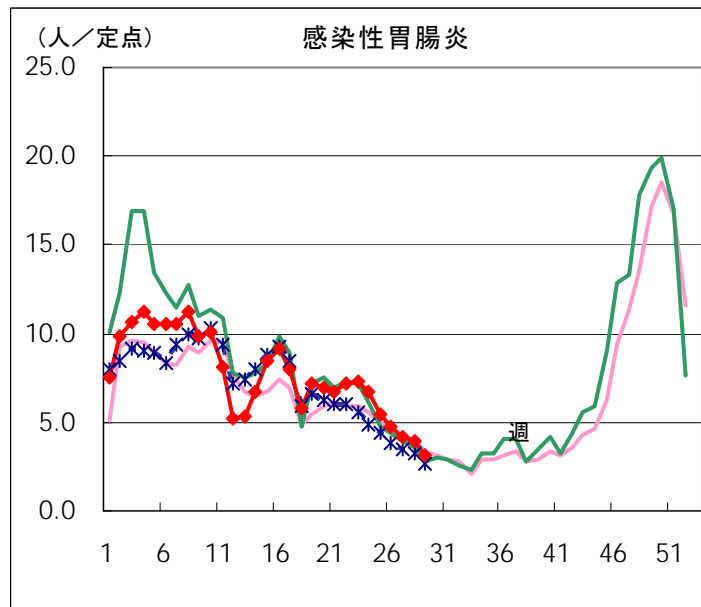
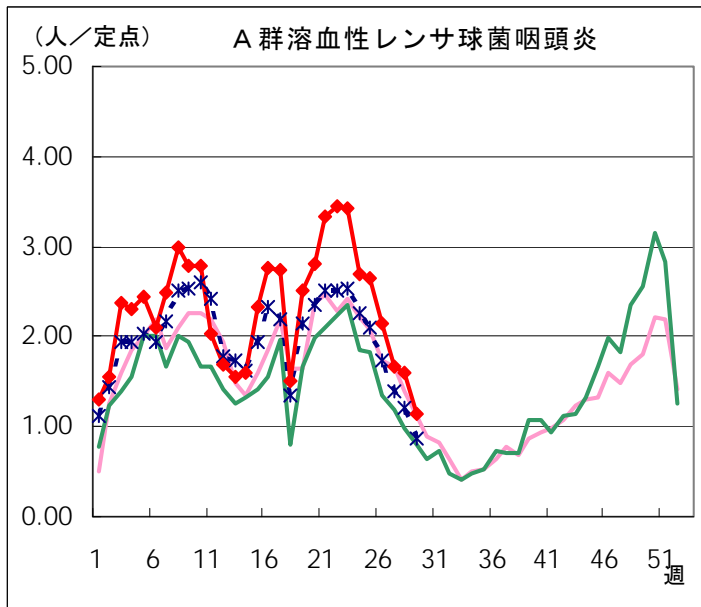
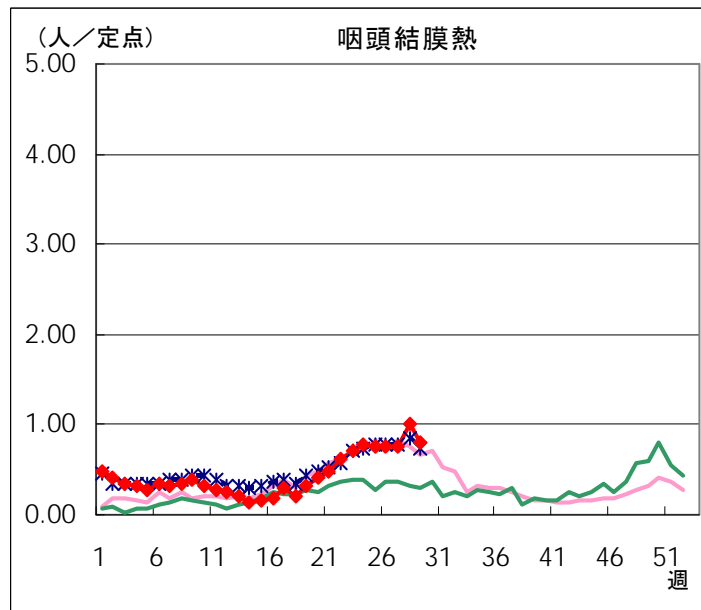
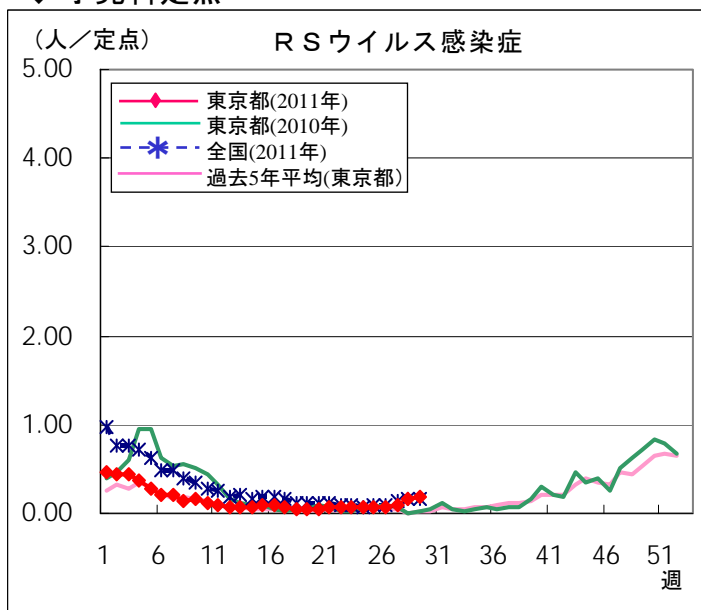
東京都	0.18	0.81	1.15	3.14	0.59	9.53	0.36	0.79	0.03	6.85
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

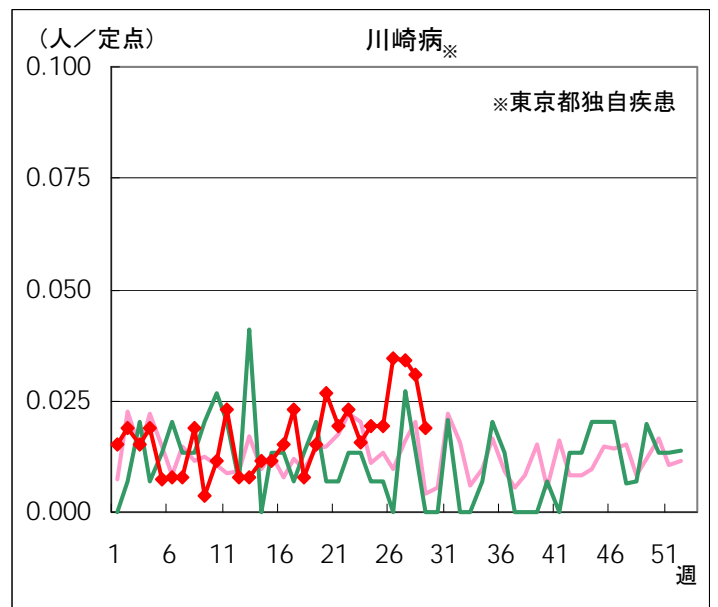
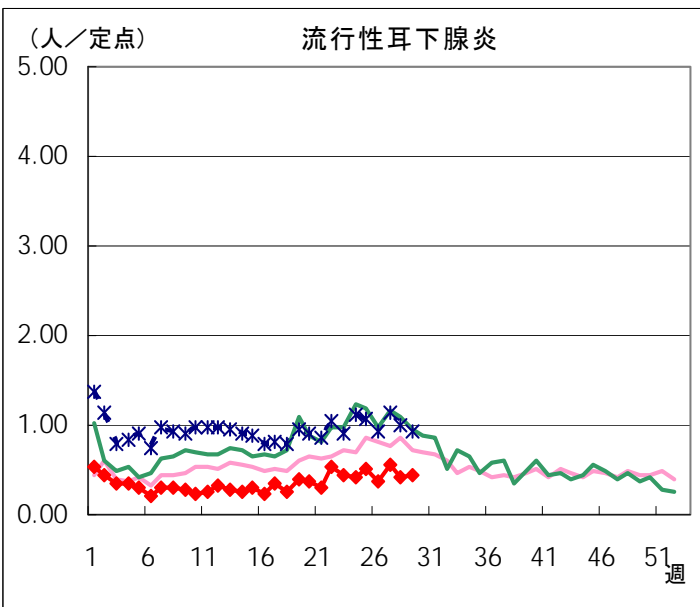
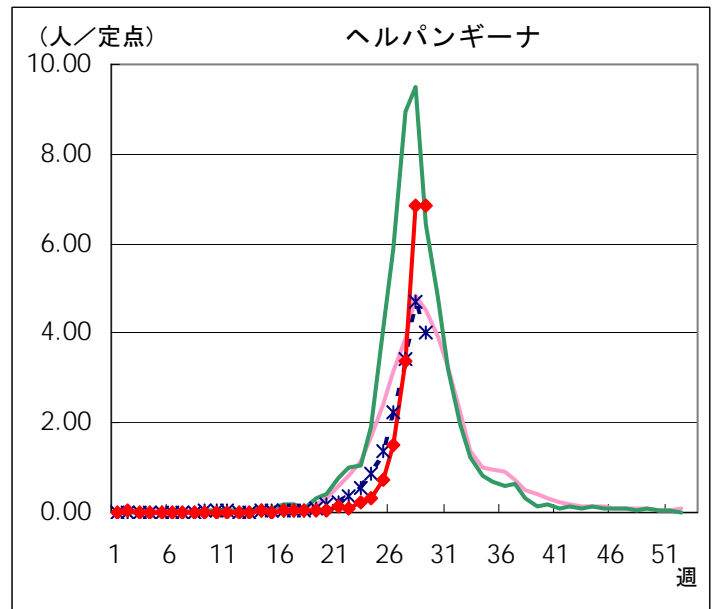
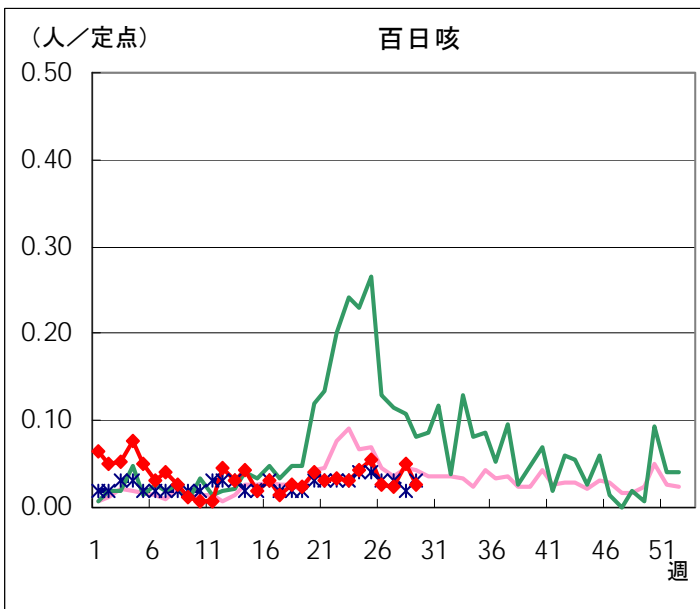
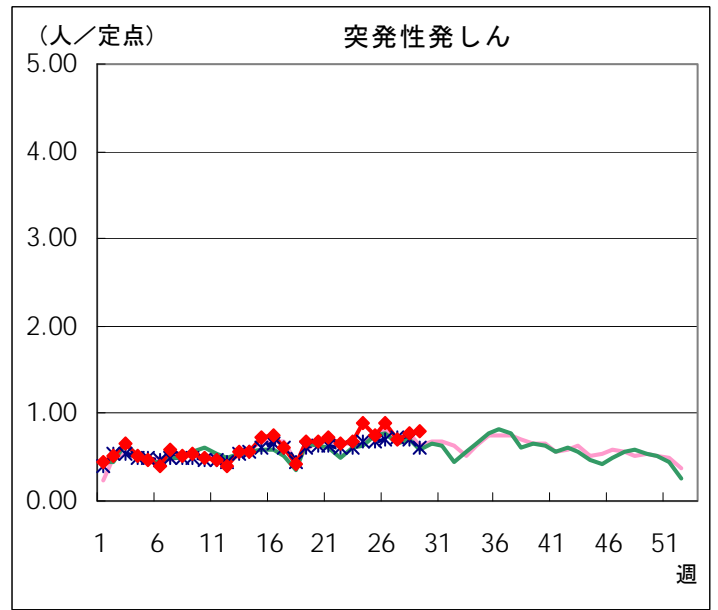
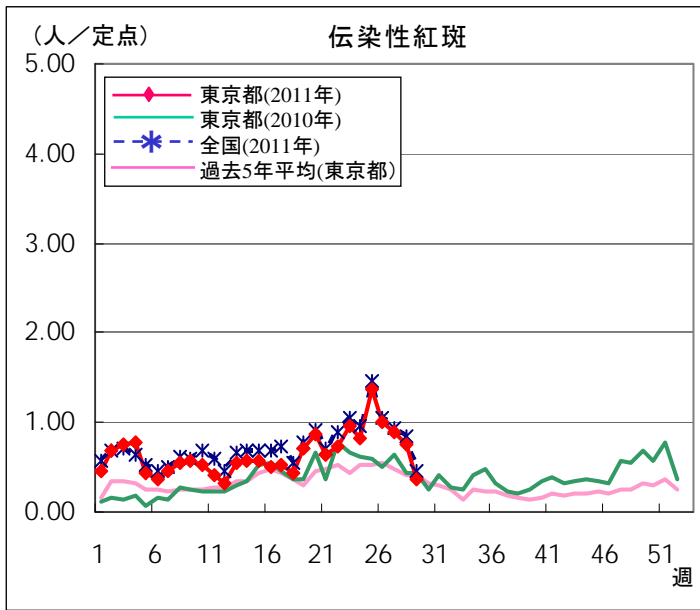
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区						1.00
みなと	0.17					
新宿区	0.13		0.25			
文京	0.33		2.33			1.00
台東	0.50					
墨田区			1.00			1.00
江東区	0.56		0.44			2.00
品川区	0.50		0.13	0.09		
目黒区	0.20					
大田区	0.31		0.46			
世田谷	0.13		0.19			
渋谷区						
中野区	0.14					
杉並	0.80		0.50			
池袋						
北区	0.43	0.14	0.29			
荒川区	0.25		1.25			1.00
板橋区	0.60		0.30			
練馬区	0.54		0.46			1.00
足立	0.38		0.38	0.05		1.50
葛飾区	0.13	0.13	0.50			2.00
江戸川	0.08		0.33		0.50	2.00
八王子市	2.00		0.27			
町田市	0.38		0.63	0.08		
西多摩	0.38		0.13			1.00
南多摩	1.33	0.11				
多摩立川	0.21		0.21			
多摩府中	0.15	0.10	0.30			1.50
多摩小平	1.00		0.13			1.00
島しょ						

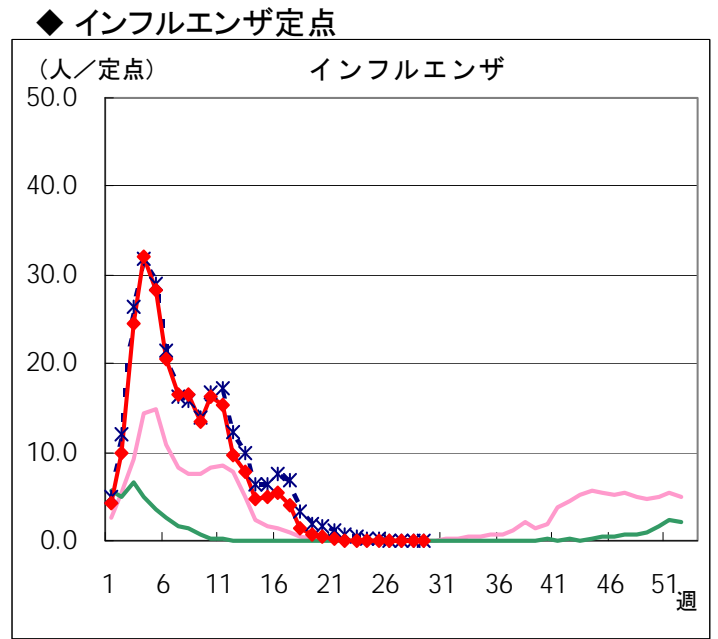
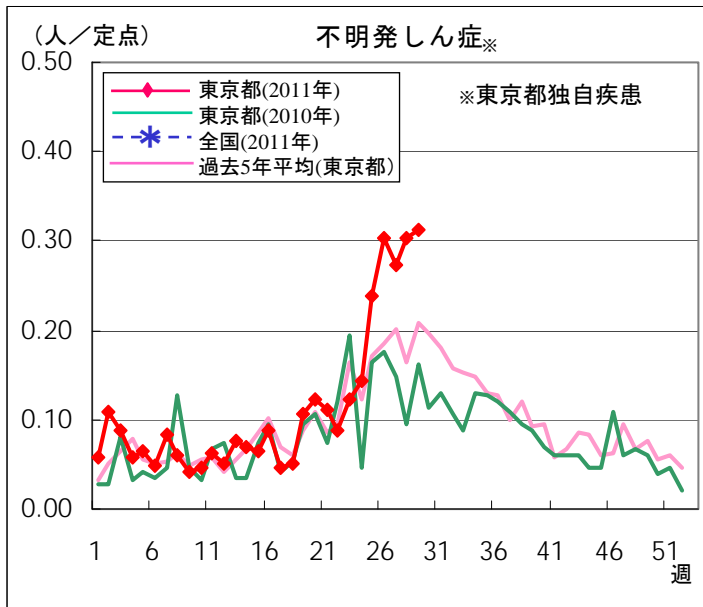
東京都	0.44	0.02	0.31	0.01	0.03	0.64
-----	------	------	------	------	------	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2011年29週現在

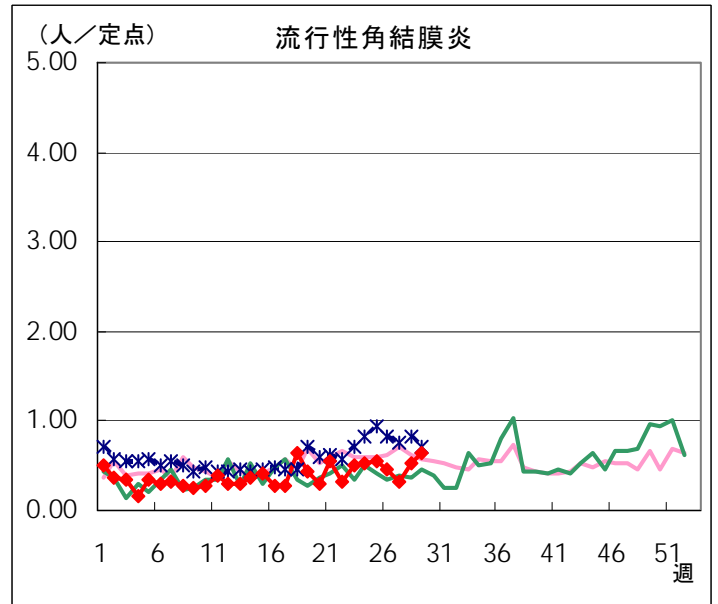
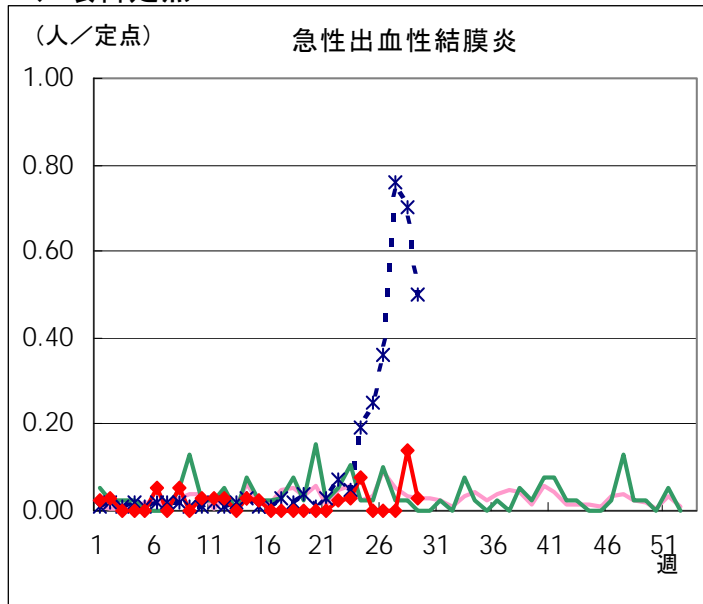
◆ 小児科定点



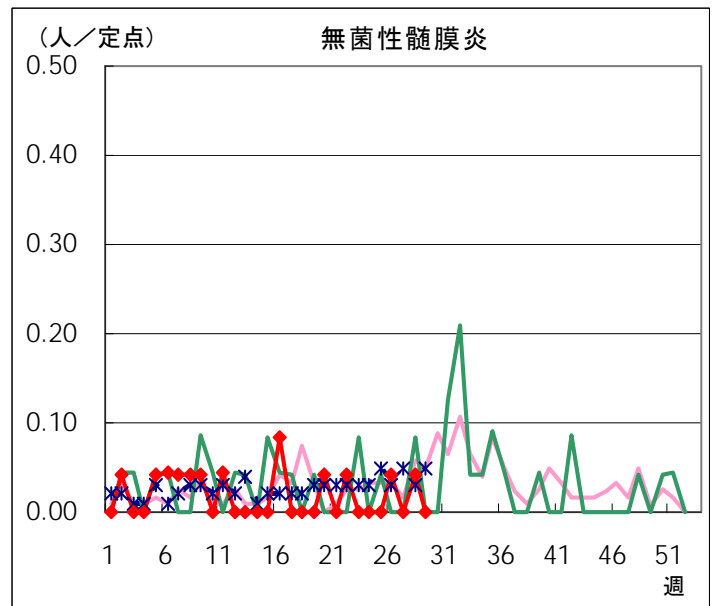
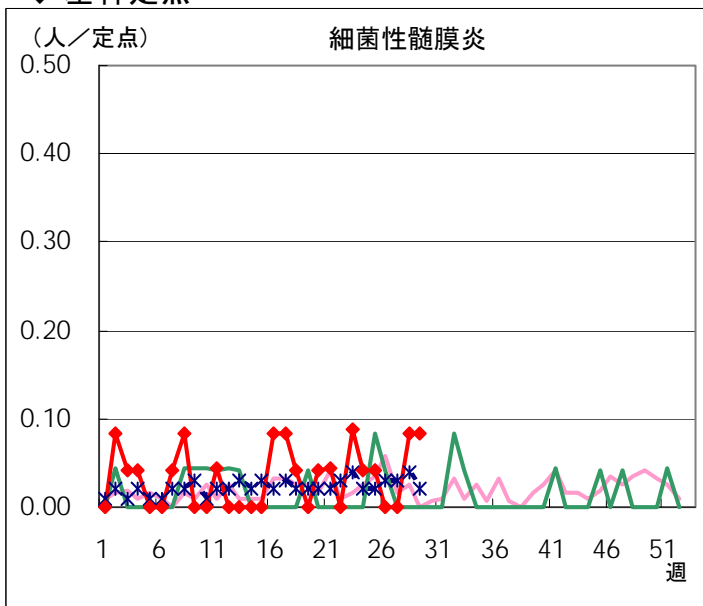


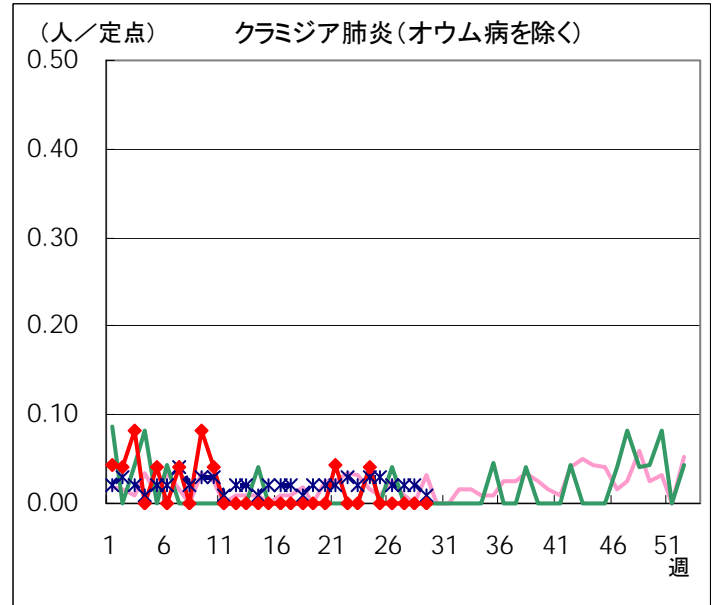
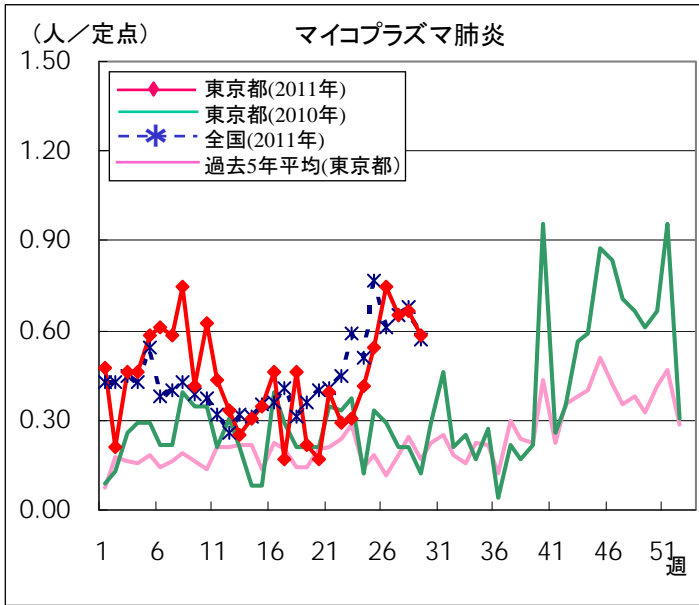


◆ 眼科定点

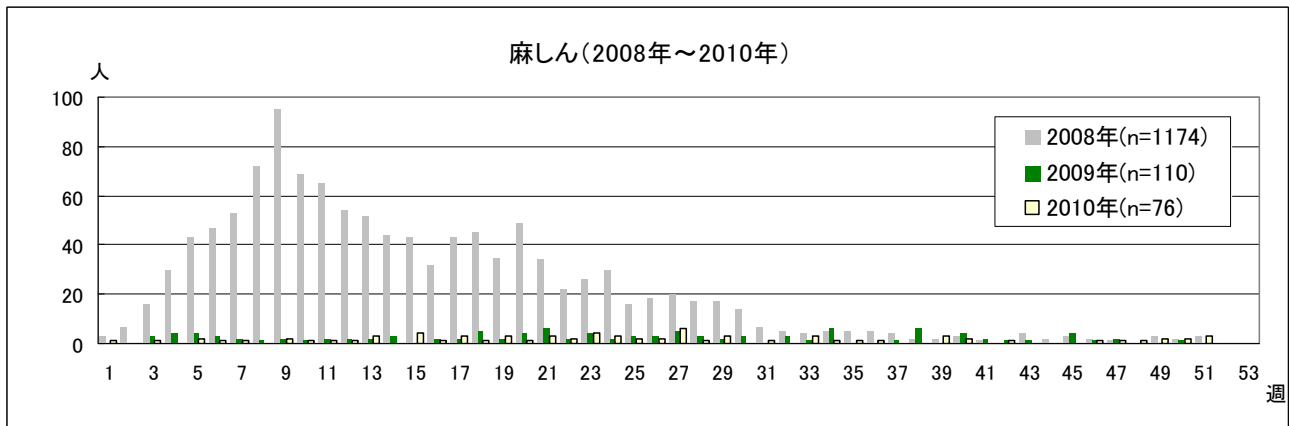
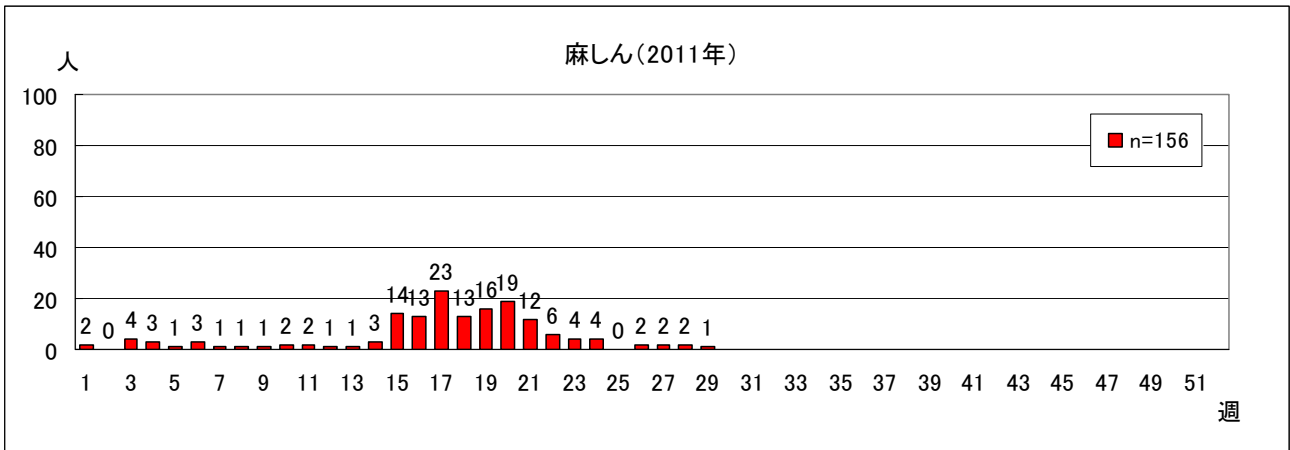


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2011年29週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
7/12	RSウイルス性細気管支炎	5M	咽頭拭い液	RSウイルス	遺伝子
7/12	ウイルス性発しん症	8M	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	
7/11	突発性発しん	8M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
7/6	RSウイルス性細気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
7/6	咽頭炎	1	咽頭拭い液	麻疹ウイルスA型 ヒトヘルペスウイルス 6型	
7/11	多発性口内炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/14	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/15	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型・7型	
7/6	熱性けいれん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
7/5	発しん・肝障害・血小板減少	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
7/8	不明熱	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/11	上気道炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス 2型 エコーウイルス 6型	
7/11	手足口病	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/9	ヘルペスウイルス性発しん症	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/13	ウイルス性発しん症	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/14	伝染性紅斑	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス パルボウイルスB19	
7/13	不明熱	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/11	溶連菌感染症	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/15	流行性耳下腺炎	5	咽頭拭い液	ムンプスウイルス、EBウイルス	
7/11	咽頭結膜熱	6	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/12	咽頭結膜熱疑い	6	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/9	ウイルス性髄膜炎	6	糞便	エンテロウイルス	
			咽頭拭い液		
7/12	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	ムンプスウイルス、EBウイルス	
7/8	伝染性紅斑	7	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
7/7	無菌性髄膜炎	7	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
7/13	不明熱	8	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/12	感染性胃腸炎	11	糞便	カンピロバクター・ジェジュニ	分離同定
7/12	ヘルパンギーナ	12	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
7/14	耳下腺炎	14	咽頭拭い液	EBウイルス	
7/12	上気道炎	33	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群 6型	
7/8	ウイルス性髄膜炎	記載なし	髄液	エンテロウイルス	
7/10	急性腸炎	記載なし	糞便	エンテロウイルス	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数
今回は報告がありませんでした。

◇オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況 6/13 現在

	感受性株	耐性株
AH1pdm09型 インフルエンザウイルス	149	2

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2011年							
		21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週
ウイルス	アデノウイルス	7	11	10	9	13	9	3	3
	ライノウイルス	5	3		3	2	5		
	ポリオウイルス				1				
	コクサッキーウイルスA群							1	1
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								1
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	1	3	4	2	1	6	24	17
	単純ヘルペスウイルス	1		1		2			
	水痘・帯状疱疹ウイルス			1			2		
	ヘルペスウイルス6/7		4	2	3	6	6	11	6
	EBウイルス	1	3	1	1	2	2	4	3
	サイトメガロウイルス			1			2	3	
	ムンプスウイルス		3	2		2	1	2	2
	麻疹ウイルス			1					1
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19	4		2	2	3	12	4	3
	RSウイルス		1	1		1			2
	ノロウイルス			2	1	1	2		
	ロタウイルス		1			1			
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3	1						2		
インフルエンザウイルスB	5	6							
インフルエンザウイルスAH1pdm09									
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス		5	6	12	6	2	7		
細菌	カンピロバクター	2						1	1
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌		7	2			17	4	
	百日咳		6	3			14	5	
	マイコプラズマ		3				2		
	その他の細菌		3	3			4	7	
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2011年21週～2011年28週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数		25	103	76	33		28	23	5	11	29	12	58	11	6	2		161	
ウイルス	アデノウイルス		14	8	4		16		2	2	3	2	3	2				9	
	ライノウイルス	1	3	4			2			1			1					6	
	ポリオウイルス		1																
	コクサッキーウイルスA群		2																
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス		1																
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス		1	3	1		3	2		6	20	2	2					18	
	単純ヘルペスウイルス																		4
	水痘・帯状疱疹しんウイルス										1				2				
	ヘルペスウイルス6/7		1		1						9		11						16
	EBウイルス		1	1								1	2	6					6
	サイトメガロウイルス		1										1						4
	ムンプスウイルス													9					3
	麻疹しんウイルス		1										1						
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19						1				1	11	15						2
	RSウイルス			5															
	ノロウイルス				6														
	ロタウイルス				2														
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	3																		
インフルエンザウイルスB	7	1	1	1														1	
インフルエンザウイルスAH1pdm09																			
デングウイルス(抗体を含む)																			
その他のウイルス		4	25	2		3							2					2	
細菌	カンピロバクター				4														
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌		12	1				16					1						
	百日咳		26	2															
	マイコプラズマ			5															
	その他の細菌		8	3				3					2					1	
その他の病原体																			

<感染症豆知識>

生食用食肉の加工基準目標

富山県をはじめとする北陸地方や神奈川県にチェーン展開していた焼肉店において、利用者 169 名が腸管出血性大腸菌食中毒（O111 等）に罹患し、4 名の方が亡くなった。本件については、関係自治体、厚生労働省および警察による調査・捜査が継続している（5 月 24 日現在）。

さて、肉の生食による「腸管出血性大腸菌」や「カンピロバクター」の食中毒は広く知られているが、発生予防のための食肉加工や生食用に係る法的規制はない。

唯一、厚生労働省から平成 10 年 9 月に通知された「生食用食肉の衛生基準」（以下「衛生基準」という）がある。これは、牛肉・馬肉の生食による食中毒を防止する観点から、厚生大臣（当時）が食品衛生調査会に諮問し、その答申に基づく基準として示されたものである（指導基準であり法的拘束力はない）。

「衛生基準」については、今回マスコミ等でも報道されたが、ここで一部抜粋したものを紹介する。

まず、【1】生食用食肉は、糞便系大腸菌群（大腸菌）、サルモネラ属菌は陰性であること。

次に、【2】食肉処理場において、食肉を生食用食肉にするため、トリミング等（肉の表面の細菌汚染部分を取り除くため、筋膜、スジ等の除去を行うなど）を行う。

また、【3】生食用食肉は 10℃以下となるよう速やかに冷却し、10℃を超えることのないよう加工すること。

など、これら以外にもさまざまな基準が示されている。

5 月に東京都と特別区等とが協力して、生食用食肉を取り扱う施設に対する緊急監視を実施した結果、生食用肉を取り扱う飲食店など施設全般の「衛生基準」への適合率は 31.3%、さらに飲食店での牛肉の取り扱いでは 0.5%と低いものだった（6 月 7 日公表「生食用食肉を取り扱う施設に対する緊急監視結果について」から）。

厚生労働省は本年 10 月以降、法に基づく新基準を策定するとしているが、盛夏を前にして基準設定されるまでの間、事業者に対する監視指導の徹底が必要となる。

（文責 東京都福祉保健局 田崎達明）